

えびの

市議会 だより

第149号

令和8年7月22日

Ebino City Assembly Report 2026/7/22 Vol.149



田の神さぁと田んぼ

次回定例会は
8月31日(月)
開会予定

6月定例会概要

令和8年6月定例会は6月3日から6月17日までの15日間にわたり開催され、報告4件、議案6件、請願2件、陳情3件について審議しました。

審議結果の詳細は2～6ページをご覧ください。

◇ 条例改正に関する 報告・議案 ◇

【報告第3号】

専決処分したえびの市税条例の一部を改正する条例の承認について
(詳しくは3ページをご覧ください)

【報告第4号】

専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について
(詳しくは4ページをご覧ください)

【議案第35号】

えびの市税条例等の一部改正について
(詳しくは3ページをご覧ください)

◇ 予算に関する議案 ◇

【議案第36号】

令和8年度えびの市一般会計予算

の補正(第1号)について

歳入歳出それぞれ2億3,074万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ16億8,016万4千円とするものです。

【総務費】

・霧島演習場周辺民生安定事業費(無線放送施設整備)

2, 680万1千円

【農林水産業費】

・農産園芸事業費

398万6千円

・畜産振興事業費

1, 082万3千円

(詳しくは6ページをご覧ください)

【教育費】

・小学校施設維持補修費

8, 509万3千円

◇ 特別会計に関する議案 ◇

【議案第37号】

令和8年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)について

国民健康保険税を1, 883万6千円減額し、一般会計からの法定繰入金1, 108万9千円、国民健康保険基金より774万7千円を繰入れ、歳入歳出予算の総額は変わらず27億5, 736万3千円とするものです。

【議案第38号】

令和8年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第1号)について
介護保険に係る会計年度任用職員給与及び介護保険システム改修委託料として347万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ31億5, 349万2千円とするものです。

◇ 請願・陳情 ◇

【請願第1号】

保安林指定解除に対する反対意見の提出を求める請願書(仮称)伊佐・えびの・人吉風力発電事業に関して

【請願第2号】

(仮称)伊佐・えびの・人吉風力発電事業に係る公害防止協定の締結等を求める請願書
(詳しくは4～5ページをご覧ください)

電事業に係る公害防止協定の締結等を求める請願書
(詳しくは4～5ページをご覧ください)

【陳情第3号】

市議会提出議案資料のホームページ公開に関する陳情書
(詳しくは3ページをご覧ください)

【陳情第4号】

再生可能エネルギー地域共生促進税条例の制定及び地域共生ガイドラインの策定を求める陳情書

再生可能エネルギー発電事業と地域社会との適正な共生の確保並びに持続可能な地域づくりを推進するため、条例の制定及びガイドラインの策定を求める陳情です。

【陳情第5号】

(仮称)伊佐・えびの・人吉風力発電事業の推進を求める陳情書

風力発電事業の推進を求める、真幸地区の自治会長18名から提出された陳情です。

◇ 人事案件 ◇

・固定資産評価員

外村 幸一氏

令和8年6月定例会

総務教育

常任委員会報告

6月定例会において、当委員会に付託された報告1件・議案2件・陳情1件の審査を行いました。

審査の結果、報告1件・議案2件は、いずれも原案のとおり承認及び可決すべきもの、陳情1件については採択すべきものと決まりました。

以下、主な議案等の審査内容を抜粋して報告します。

①報告第3号 専決処分したえびの市税条例の一部を改正する条例の承認について

地方税法等の改正に伴い、「軽自動車税の環境性能割」を廃止し、「軽自動車税の種別割」の名称を「軽自動車税」に変更するものです。環境性能割の廃止により、えびの市では、年間約395万円の減収が見込まれます。

Q この減収に対する国からの補てんはあるのか。また、補てんはどの程度の期間続くのか。

A 令和8年度については、地方特例交付金により補てんされる見込みであるが、令和9年度以降については、今後国で検討される予定である。



②議案第35号 えびの市税条例等の一部改正について

地方税法等の改正に伴い、えびの市税条例等の一部を改正するものです。主な改正内容は、次のとおりです。

・個人住民税における住宅ローン控除の適用期限を、居住年が令和7年までとされていたものを令和12

年まで5年間延長

・公的年金等受給者の扶養親族等申告書について、提出義務の対象となる範囲の拡大

・固定資産税の免税点を、家屋では20万円から30万円へ、償却資産については150万円から180万円へ引き上げ

固定資産税の免税点の引き上げにより、えびの市では約195万円の減収が見込まれます。

Q 約195万円の減収について、市として何らかの対応を考えているのか。

A 国の制度改正に基づくものであり、市独自の対策を講じる性質のものではない。

③陳情第3号 市議会提出議案資料のホームページ公開に関する陳情書について

この陳情は、市議会に提出された議案や関係資料を、市のホームページ上で分かりやすく掲載し、閲覧できるようにして欲しいという陳情です。

か。

A 令和8年6月定例会から、市議会に送付しているデータとおおむね同様のものをホームページ上に掲載している。

今後も定例会ごとに、市民室に閲覧用として設置している資料や、記者クラブに配布している資料と同様のものをホームページに掲載していく予定である。

総務教育常任委員会

委員長 本田 英俊



令和8年6月定例会

産業厚生

常任委員会報告

6月定例会において、当委員会に付託された報告1件・議案2件・請願2件・陳情2件について審査を行いました。

審査の結果、報告1件・議案2件はいずれも原案のとおり承認及び可決すべきものと決まりました。請願2件・陳情2件については、継続審査と決まりました。

以下、主な議案等の審査内容を抜粋して報告します。

【報告第4号】専決処分したえびの市国民健康保険条例の一部を改正する条例の承認について

改正の内容については、国民健康保険税の課税限度額の引き上げ及び軽減判定所得の算定における基準額の引き上げを行うものです。課税限度額では、基礎課税分が66万円から67万円に引き上げとなり、子ども・子育て支援納付金分の課税限度額が3万円となります。また軽減判定所得の基準額については5割軽減に係

る基準額が30万5千円から31万円に、2割軽減に係る基準額が56万円から57万円となります。

Q 今回の改正の要因は。

A 課税限度額については、国において国民健康保険の被保険者間の保険税負担の公平の確保及び中低所得者層の保険税の負担軽減を図るために限度額の見直しを行う。また、軽減判定所得の判定基準となる金額については、消費者物価などの経済動向等を踏まえ所要の見直しを行うものである。

Q 影響を受ける世帯はどの程度あるのか。

A 課税限度額の引き上げに影響を受ける世帯が4月16日時点で約55世帯、軽減判定所得の基準額の引き上げにより影響を受ける世帯は11世帯となっている。



【請願第1号】保安林指定解除に対する反対意見の提出を求める請願書（仮称）伊佐・えびの・人吉風力発電事業に関して

【請願第2号】（仮称）伊佐・えびの・人吉風力発電事業に係る公害防止協定の締結等を求める請願書

審査については、紹介議員2名に出席いただき、この請願の趣旨及び経緯などについて説明いただいた後、質疑応答を行いました。

《請願の趣旨及び経緯》

紹介議員A…風力発電の請願の趣旨及び経緯については、一般質問等で以前から取り上げており、今回請願者から、人命を大事にしていきたい旨の話があり、内容を読ませていただきこの地域一帯が元々火山岩でできていて、火山岩マグマが冷え固まるときに亀裂のようなものが、この地域には多く点在していると予想されることから、土砂災害を懸念されていた。実際に真幸地区ではかつて、西内堅地区に大規模な地滑りがあり4名の方が亡くなる大きな災害があった。今回予定されている地域はこの地帯から北側約1キロ程度にあり、事業者の説明では地滑りが起こった地域には水は流さないように

配水計画を作るとあるが、この地域だけに水を流さないという対策では不十分だと考える。そういった点が解消されない限りは、議会としては進めるべきではないという立場を取るべきだと思ひ紹介議員になった。また公害防止協定の方は、事業を開始する前にこういった協定をしつかり結んでいく必要があるという請願者の説明に納得し紹介議員とならせていただいた。

紹介議員B…地質、地形的な面で一番大きな問題がある。加えてそれ以外にも健康被害等で考慮すべきところが非常にあるというところで紹介議員とならせていただいた。

《質疑応答》

質問…市側へも同様の要望書などを提出されたのか、また、県の方にも同様の請願陳情は提出されたのか。

紹介議員…請願書は出していない認識である。県へ陳情を出したかは把握していない。

質問…請願第1号は風力発電の設置を認めないという請願。一方で請願第2号は、設置後の対応を求めるものであるが、相反するものではないか。

紹介議員…議会が設置に反対を表明しても、やむを得ず進む場合には

最低限、公害防止協定は結ぶべきであるということは決して矛盾はしていない。

質問…保安林指定解除に反対する明確な意見を提出されるよう強く求めるということは、風力発電施設を設置予定地に作ることを認めないと思表示してほしいという事か。

紹介議員…市としてできる最も有効な手段が保安林指定解除に対する反対の意見を述べることだということとでこの請願になっている。

質問…保安林指定解除を認めない旨の意見書を提出すれば、この事業は実施できないのか。

紹介議員…法的拘束力があるわけでないが、林野庁の判断の際に、市長の意見が最も重要視されると一般的に言われている。ただ、明言はされていないため、確実なことは言えない。

質問…西内堅地区の住民の方から風力発電に関する反対の声は出ているのか。

紹介議員…聞いていない、むしろ賛成の声を聞いている。

質問…真幸地区、西内堅地区の自治会の方達は賛成をしている中で、賛成の声よりも請願者一人の考え方に賛同されたのか。

紹介議員…元々風力発電の問題を

取り上げ始めたのは真幸地区の住民からの相談がきっかけで、その中で請願者が以前議会で取り上げられていたことを知り、コンタクトを取らせていただき話を聞いたという経緯があり、その流れからの依頼ということになる。

質問…請願第2号の趣旨について、本事業については、計画の中止または抜本的見直しとはどういうことか。

紹介議員…えびの市内に設置予定の内の4基については滑落崖付近に位置しており、特に土砂災害を誘発する懸念があるため、見直す必要があると認識している。

質問…この風力発電の計画について、伊佐市・人吉市でも反対の請願書・意見書のようなものが出されているのか。

紹介議員…請願に関しては確認できていないが、伊佐市は反対署名が出され、計画の見直しがあったと説明を受けている。

質問…請願第1号は環境影響評価準備書に対する意見書とは別に、保安林指定解除に反対する意見書の提出を求めるというものか。

紹介議員…保安林指定解除に関しては、事業者の説明を踏まえ、市町村長が意見書を提出することが基本的な取扱いとされており、市長意見

を元に判断される。今回の環境影響評価準備書に対する意見書とは別のものである。

質問…今回の請願の目的は人命が大事ということを請願者が言われたとのことであつたが、今回の風力発電事業は命に関わる事業だと思っているのか。

紹介議員…今後懸念しているのは土砂災害とか地滑りに繋がる可能性があるかとすれば、それは人命に関わる問題だと思う。

質問…請願者もえびの市民であり、市民の一人の意見としてそれを汲むのも大事ではあるが、真幸地区自治会長の方々は、風力発電事業の推進を求める陳情書を提出されている。その住民の思いをどのように受け止めているか。

紹介議員…コミュニケーションが足りなかった。しっかりと話し合った上での結論が望ましい。

産業厚生常任委員会

委員長 田口 正英



高知県幡多郡大月町の風車

令和8年6月定例会 予算審査特別 委員会報告

6月定例会において、当委員会に付託された議案1件について審査を行いました。
審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。
以下、議案の審査内容を抜粋して報告します。

【歳入】国庫支出金
・霧島演習場等周辺無線放送施設設置事業費国庫補助金

△1億5,039万円

Q 今回の減額補正の理由は何か。

A 国庫補助金の減額補正は、令和8年4月13日付けで、補助金等交付内定決定通知があったことから減額するものであり、今回の無線放送施設整備事業については、令和8年度当初予算で継続費を設定し、2ヶ年にまたがって実施するものである。

今回、国庫債務負担行為の補助金

という形で決定が出たところであるが、これは2ヶ年にわたる決定ということで、最初の年度が2割、後の年度が8割という補助率を基本としたもので、後ろ倒しになる形で決定したものであるが、事業実施には影響はない。

【総務費】
・霧島演習場周辺民生安定事業費
(無線放送施設整備分)
2,680万1千円

Q 工事請負費の2,511万3千円の積算について、この金額は継続費補正額の40%相当額とな

っているようだが、この40%というのは継続費の総額に対する進捗率から出されているのか。

A えびの市工事約款に定める前払金の支払割合が40%と定められており、この率を用いたものである。

Q 戸別受信機について、当初の

予定では全戸配布を想定されていたと思うが、その後市民の要望を聞いた上で、戸別受信機を求めるのみに配布する方法で検討しているとのことだが、その方法で決定したのか。

A 当初の考えは全戸配布を基本

としていたが、今回の調査は、市として世帯数等は持ち合わせているものの、同じ家の中で複数の世帯構成も考えられることもあり、この場合複数の受信機は必要ないということが想定されるので、実際に設置する個数を確実にするために、今回調査のための補正を計上している。

Q 以前は希望アンケートのような形で、希望するという回答があった世帯のみということだったと思うが、その方針を転換したということか。

A 同じ家で二世帯あるところも含め、避難情報等が確実に伝わるように、市公式LINEを受信されている方で、戸別受信機を希望されない方は、配布数から減らしていきたいと考えている。

【農林水産業費】
・畜産振興事業費
畜産競争力強化整備事業補助金
1,022万2千円

Q 事業説明書に収益性向上タイプから持続性向上タイプに設定し直したと記載があるが、設定し直した理由は。

A 計画当初は、まだ持続性向上タイプという条件がクラスタ

1事業になく、計画作成後、年度途中で新たに持続性向上タイプも条件に出来るということで再度協議をし直した経緯がある。

収益性向上タイプというのは、今の事業を増頭して収益を上げる、生産額を上げていくことが条件であるが、新たな持続性向上タイプというのは、地域の雇用の創出、家畜防疫に対する強化を図るなど、単純に収益だけを上げなくてもよいもので、その地域の畜産を、長期的に維持できる取り組みができれば、クラスタ1事業に採択するということが新たに出来たため、そこを加味し今回協議を行い、また再度計画を上げたところである。

また、補助金の増額の内容については、子豚の出産のための豚舎が対象で、アニマルウェルフェア対応や、家畜防疫対応を強化することによって、その部分が新たに補助事業額の増額となったものである。

予算審査特別委員会
委員長 小宮 寧子

建設予定の風力発電所について



大平落 哲郎
議員



質問 今回の計画により、ベルトンオートキャンプ場等の運営にも支障が生じることが懸念されるが、市長の見解を伺う。

市長 事業者は、風力発電機の塗装をグレー系とすることや、樹木の伐採を最小限に抑えることなどにより、景観への配慮に努めるとしている。騒音については、市としても内容を十分に精査し、県に対して市の見解を示してまいりたいと考えている。

質問 西内堅地区は昭和47年に山津波が発生しており、専門家の論文でも、地形・地質的な脆弱性が指摘されている。森林伐採により、土砂災害の危険性増大が懸念されるが、市長の見解を伺う。

市長 山津波が発生した地域で



矢岳高原ベルトオートキャンプ場

あることは存じ上げている。事業者は山津波が発生した区域を回避した計画を進めている。また、近隣の西内堅自治会にも説明を行い、理解を得られていると伺っている。市としても環境影響評価準備書を十分に精査し、県に対して市の意見を述べていきたいと考えている。

えびの市の児童クラブについて



増田 輝
議員



質問 えびの市における放課後児童クラブの利用状況を伺う。

こども課長 本市における令和

8年4月1日現在の放課後児童クラブについては市の直営が2箇所、飯野小学校児童クラブが男児30名・女児25名の計55名。岡元小学校児童クラブが0名。委託運営が4箇所、えびのみなみ保育園キッズクラブが男児5名・女児15名。上江小学校児童クラブが男児16名・女児8名。加久藤小学校児童クラブが男児32名・女児33名。児童保育まさきの男児が35名・女児35名。計6箇所において男児118名・女児116名の児童が利用している。

質問 出産後の預かり期間についてもう少し柔軟に対応出来ない

か伺う。

こども課長 保護者が労働等で昼間家庭に居ない者に準ずる者として、妊娠中・出産後間が無い場合も利用対象としているが、人員配置等の課題もあるので国が定める一般原則を踏まえつつ、運用面において改善を行うとともに、家庭の事情に応じて出産後の子育て支援に関する周知を図っていきたいと考えている。



クラウドファンで市民のアイデアを形に！



戒谷 暁
議員



質問 小林市では10年ほど前からクラウドファンディング型ふるさと納税に取り組んでおり、事例をあげると、市内で有機農業を営む生産者が自ら育てた野菜を使ったレストランをオープンするというプロジェクトで約120万円の寄付を集めている。また、令和7年には地元の高校生が主体となり企画したプロジェクトで総額1億3,329万3千円の寄付を集めるといふ実績を上げている。市民の希望や面白いアイデアを実現していく手段として、本市でも取り入れられないか伺う。

総合戦略対策監 小林市の事例では、市が事業に取り組むのではなく、住民あるいは団体が主体的に取り組むプロジェクトに関して

市が成り代わってクラウドファンディングを受け付けるような形である。その中で、事業の選定や認定の手続きはしっかり行わなければならないが、非常に参考にすべき内容であるため、研究等を行っていききたい。

市長 すぐにでも進めていきたい気持ちではあるが、令和9年度から取り組むかどうか、担当課に研究等を進めるように指示しているつもりである。



クラウドファンディング型ふるさと納税

えびの市活性化プラン



川野 亮
議員



質問 えびの産米を使ったソーメンを産地化できないか。

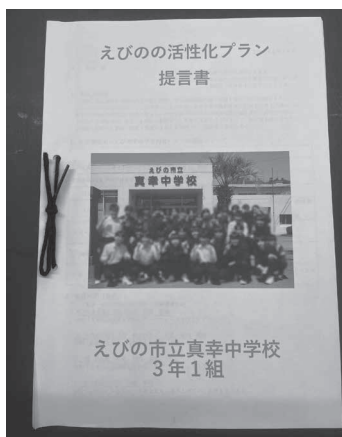
畜産農政課長 米粉を使った代表的な物は、ビーフンやフオードがある。提案については取組みたい事業者がいれば側面からサポートを考えたい。

質問 矢岳高原からソーメン流しで日本一(ギネス新記録)を目指しえびの市産農畜産物を日本、また世界に発信できると考えるがこのようなイベントを検討出来ないか。

畜産農政課長 市が直接イベントを企画運営することはなかなか厳しいと考える。

質問 これは、真幸中学校の生徒が考えた提案である。教育長の見解は。

教育長 生徒達が市長に提案した問題解決のアイデアとしては、ハイレベルで素晴らしいものであると感じた。ギネス挑戦は子ども達ならではの活動を生み出したこととは驚きだ。えびの市の子ども達の発想と、新鮮な感覚でえびの市を見てくれることにも非常に驚きと関心を持った。



えびの市活性化プラン提言書

市立病院と小中学校の統廃合



本田 英俊
議員



質問 えびの市立病院の存続について、市長の考えを伺う。

市長 市立病院は地域医療を担う中核病院である。市内の医療機関が急速に減少している中で、市立病院の存続は当然である。

質問 レスパイト入院及び地域包括ケア病床の充実の考えは。

病院事務長 市立病院の経営強化プランにも記載されているが、重要な取り組みで、利用が増えている。地域包括支援センターや社会福祉法人等と連携し、パンフレット配布や市の広報を通じて、利用促進に努めていく。

質問 えびの市の小中学校の統廃合について伺う。

教育長 令和4年から、えびの市学校規模適正化調査検討委員会

により調査研究を進めてきた。

質問 統廃合の理解を得るための期間は今後どの程度必要か。

教育長 3年から5年で、それ以上の場合も考えられる。

質問 産業団地に道の駅えびのとの相乗効果が期待できる商業系企業を誘致することは可能か。

企業立地課長 産業団地は半分程度売却済で、残りの区画で商業施設の誘致は難しいと考える。



1978年に建てられた市立病院

安心して生活できるまちづくり



松窪 ミツエ
議員



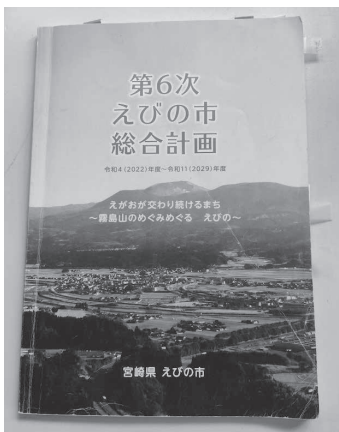
質問 本市の総合計画に、多文化共生の取組が位置づけられている。計画書には、「多様な国から

多くの方が在住しており、行政情報、生活情報の多言語化などの取組が必要であるが、支援する体制や方法が確立されておらず、外国籍住民が暮らしやすい環境を整えることが課題となっている。」と示してあるが、本市の実態と今後の施策についての見解や専門的相談窓口の設置について伺う。

市長 少子高齢化、人口減少による働き手の確保には、外国人の労働力が欠かせない状況にある。本市でも特定技能外国人、技能実習生等が多数居住されているが、これらの外国籍の方を就労者としてのみならず、地域社会の一員と

して地域住民とお互いに寄り添い、助け合い、誰もが安心して暮らせる取り組みが多文化共生につながると考えている。また、「相談窓口」は宮崎外国人サポートセンターに設置されている。

総務省において、外国人との共生社会の実現に向けた必要な自治体の施策を検討中で、今年度末に報告を受け、市としての取組を検討することになると考えている。



市民協働によるまちづくりの推進p126

拠点校部活動について



末原 由美子
議員



質問 拠点校部活動をする場合当然送迎をすることになるが、共働きの家庭や一人親世帯などさまざまな家庭環境があり、複数の部員であれば保護者が交代で協力しあえるが部員一人の場合は、かなり負担になっており、その結果自分の好きな部活動をあきらめる生徒もいるのではと懸念されている。市としての対応、考えを伺う。

学校教育課長 拠点校部活動に伴う保護者送迎負担については、確かに認識しているが拠点校方式がなければ希望する競技種目等の部活動をできない状況である。在籍する学校に希望する部活動がないまたは、部員不足で単独チームが組めない場合に、指定された拠点校に出向いて一緒に活動する仕

組みで、諦めるしかなかった生徒達も拠点校部活動があることでやりたい部活動ができるといった利点等がある。教育委員会としても送迎に関する保護者の負担は十分認識しており、少子化で学校単位での部活動が難しくなる中で、子どもたちの選択肢や活動機会を確保する取り組みで、ご理解をいただきたい。



部活動の様子

地域に応じた取組を



田口 正英
議員



質問 近年、食料品店の減少等に伴い、高齢者を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じている住民の方が増えてきている。食料品の円滑な供給に支障が生じる等、食品アクセス問題が顕在化しているが考えを伺う。

市長 地域に密着したスーパーや小売店の閉店が相次いでいる。生鮮食料品や、日用品を購入するためには、今まで以上に遠くの店までいく必要がある。特に移動手段のない高齢者の方々にとって大変不便な状況であることは十分承知している。

質問 現状を把握するためには今までの買物困難者に対するアンケート以外の問題も含めて、今後調査を実施する考えはないか。

企画課長 この食品アクセス問題に関する課題については公共団体等の横断的な連携の他に民間、地域住民を巻き込んだ多様な関係者との連携協力を持ち総合的に進めていくことが重要である。庁内で課題認識等を共有し、状況等の把握を行っていく。



閉店していく店舗



小宮 寧子
議員



質問 長引く地域紛争や武力衝突により国際社会が極めて緊迫している中、国内では憲法改正や武器輸出解禁の動きもあり、若い世代の中で「自衛のための戦争はやむを得ない」とする考えが広がっている。本市は平和教育の必要性をどのように考えているか。

市長 学習指導要領に基づき、戦争の実態を知る・憲法を理解する・我が国の安全と防衛の実態を知る・国際社会の中で平和にどう貢献できるかを理解し、平和の大切さを知ってもらうことが大事だと考える。

教育長 知識だけを表面的に教えるのではなく、こども達がしっかり平和の尊さについて考えて行動するという行動力を育てていく



被爆当時の痕跡を残す原爆ドーム

ことが重要だと考える。
質問 ひきこもりの要因の一つである精神疾患や発達障がいのある方が、安心して相談できる場所や自分らしく過ごせる居場所として、地域活動支援センターI型の施設が本市にも必要ではないか。
市長 自立・自分らしさを促していく役割を担う施設だと認識している。まずはニーズ把握に努め関係機関と連携を図り注視する。

議会傍聴しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやマナーをお守り下さい。

議場に来られない方も、自宅等からインターネットで議会を視聴できます。



産業厚生常任委員会管内視察

【日時】

令和8年4月28日（火）

【場所】

産業団地（ムロオ、高山・トランスグリップ）及び建設予定地（調整池含む）

【視察内容】

産業団地の現状について

①ムロオ（株式会社ムロオえびの営業所）

・チルド食品に特化した物流ネットワークを行っている。

・建物内全体が冷蔵庫としての冷蔵室と、さらにその中に氷点下20度までの冷凍庫もあり、バッテリーで動く電動フォークリフトで商品の積み込み・積み下ろしを行っている。

・夕方から夜間に仕分け作業のパートスタッフが入りこいで商品の品質管理や在庫管理をして発送される。

・トライアルグループの物流を担う株式会社M.L.Sが、宮崎県内及び鹿児島県のトライアルグループにえびのから商品を送している。

・現在51名が働いていて、トラックドライバ―は現在足りていない。

②高山・トランスグリップ

・菓子一般を取り扱う「菓子・食品総合商社株式会社高山」の関連会社。

・チヨコレート菓子や煎餅などを搬入搬出している物流倉庫。常温センターと低温センターとあり、都城市2軒、宮崎市1軒、日向市1軒、熊本県2軒、鹿児島県1軒の取引先にえびのから発送している。

・天井に取り付けてある巨大シーリング

ファンを回して空気の循環を行い倉庫内の温度の調整に使用している。

・パートスタッフ10名・社員2名で搬入・仕分け。

③建設予定地及び調整池

・区画割りがされており区画と区画のあいだには道路も整備されているが、参入予定業者からの要望があれば、一面として全て使用が可能。

・排水も調整池に流れ込むようにつくってあり、大雨による大量の雨水も二段階、三段階の対応策がとつてある。

・島内変電所が近くにあるため、高い電力を必要とする会社にも対応が出来る。

【所感】

物流倉庫を2箇所視察したが、一方は常温に近い倉庫と、もう一方は冷蔵冷凍の倉庫と全く違う温度帯のものが、同じえびのから発送されていくという点では、さらに他業種の工場がきても発送手段はあるので連携がとれると良いと感じた。

産業厚生常任委員会

増田 輝



総務教育常任委員会管内視察

【日時】

令和8年4月30日（木）

【場所】

えびの市立病院

【視察内容】

はじめに病院長から挨拶があり、その後、事務長から次の項目について説明を受け、最後に院内視察を行った。

1. 経営強化プランについて

2. 地域医療連携推進法人設立に向けた検討経緯について

経営強化プランについては、えびの市立病院が担うべき役割として、急性期病院との連携を前提とした回復期医療の強化や、地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅復帰支援機能の充実が示された。特に小林市立病院をはじめとする急性期病院との機能分担を明確にし、急性期後の患者受入体制を強化する方針が示されており、地域医療全体の効率化と質の向上を図る方向性が示された。

人員体制に関しては、医師・看護師・薬剤師等の確保が課題として認識されており、働き方改革への対応も含め、持続可能な医療提供体制を支える基盤整備が求められている。

地域医療連携については、多くの課題がある中で、医師や設備の不足という現状を踏まえると、西諸地域における医療連携の強化は不可欠である。現在、協議は中断しているとのことであり、本市としては、改めて協議を再開したいとの意向が示された。

院内視察では、限られた人員と設備の中

で、地域住民の安心を支えるための医療提供が行われている現場を確認した。特に在宅復帰支援に関する取組は、今後の高齢化社会において極めて重要である。

【所感】

今回の視察を通じて、えびの市立病院が地域医療の中核として果たす役割の重要性を改めて認識するとともに、持続可能な医療提供体制の確保に向けた取組の必要性を強く感じた。地域住民の安心・安全な医療体制を守るためにも、今後の委員会活動や政策提言に活かしていきたい。

総務教育常任委員会

大平落 哲郎

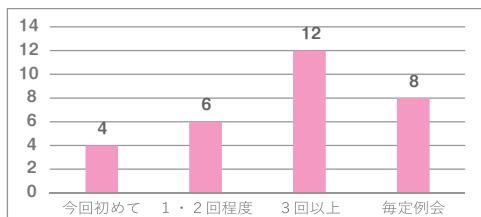


傍聴者用アンケート集計結果

【令和8年6月定例会（合計）】

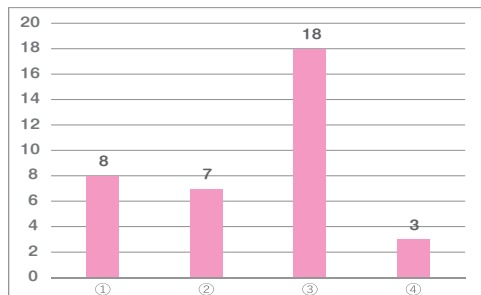
傍聴者総数
(延べ)
43人
↓
アンケート
提出者数
30人

問1：これまでに、傍聴されたことはありますか？



①	今回初めて	4
②	1・2回程度	6
③	3回以上	12
④	毎定例会	8

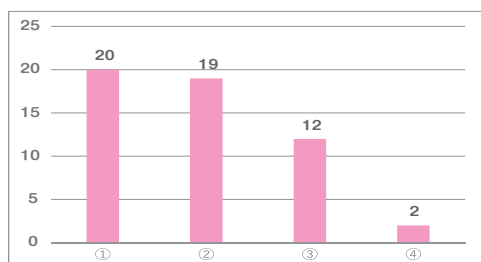
問2：こういったことをきっかけに、傍聴しようと思われましたか？（複数可）



①	議員からの紹介や案内	8
②	ホームページ	7
③	市議会や市政に興味がある	18
④	その他	3

④その他→自治会連合会

問3：傍聴の目的や理由は、こういったものでしたか？（複数可）



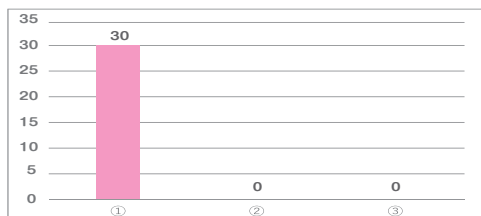
①	上程議案等に興味関心あり	20
②	議員の質問、発言内容に興味関心あり	19
③	市長等の発言内容に興味関心あり	12
④	その他	2

問4：発言内容は、いかがでしたか？

	議員	市長	各課長など
よく分かった	13	9	14
大体分かった	15	17	13
分からなかった	1	3	1

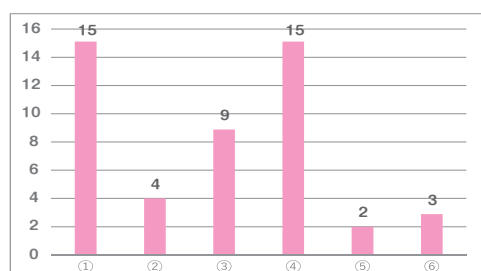


問5：今後も傍聴したいと思いますか。



①	したいと思う	30
②	したいとは思わない	0
③	分からない	0

問6：議会・議員に期待することはありますか（複数可）



①	市民の方との意見交換（会）の実施	15
②	議会だよりの充実	4
③	市制（市長・執行部）への政策提言	9
④	市民の方の声を市政に届ける	15
⑤	HPを活用した議会関連の情報発信	2
⑥	その他	3

令和8年6月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	吉留	大平落	戎谷	増田	末原	本田	川野	小宮	田口	松窪
総務教育	報告第 3号	専決処分したえびの市税条例の一部を改正する条例の承認について	原案承認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	報告第 4号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	原案承認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第 5号	令和7年度えびの市一般会計継続費繰越計算書について	—	※質疑後、終結									
	報告第 6号	令和7年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	※質疑後、終結									
	議案第33号	固定資産評価員の選任について	同 意	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第34号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第35号	えびの市税条例等の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算審査特別委員会	議案第36号	令和8年度えびの市一般会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第37号	令和8年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第38号	令和8年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 請願

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	吉留	大平落	戎谷	増田	末原	本田	川野	小宮	田口	松窪
産業厚生	請願第 1号	保安林指定解除に対する反対意見の提出を求める請願書（仮称）伊佐・えびの・人吉風力発電事業に関して	継続審査										
産業厚生	請願第 2号	（仮称）伊佐・えびの・人吉風力発電事業に係る公害防止協定の締結等を求める請願書	継続審査										

3. 陳情

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	吉留	大平落	戎谷	増田	末原	本田	川野	小宮	田口	松窪
総務教育	陳情第 3号	市議会提出議案資料のホームページ公開に関する陳情書	採 択	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	陳情第 4号	再生可能エネルギー地域共生促進税条例の制定及び地域共生ガイドラインの策定を求める陳情書	継続審査										
産業厚生	陳情第 5号	（仮称）伊佐・えびの・人吉風力発電事業の推進を求める陳情書	継続審査										

／：議長は採決に加わらない ○：賛成 ●：反対 —：棄権



議会広報特別委員会
委員 戎谷 暁

田植えの季節が終わり、えびの米を育む田んぼも青々としてきました。田んぼの神「さ」は、無事に田植えが終わることを見届けてから山に昇るといふことから、田植え後に行われるお祝いのことは「さのぼり」と呼ばれるそうです。

進学や就職で市外に出られた方々も、ご実家の田植えの際には加勢に戻ってこれられ、田植えが終わればご家族や地域の方々とお祝いのひとときを過ごされる。さのぼりは、宮崎随一の米所である本市に残る素晴らしい風習ではないでしょうか。

さて、今号では議会だよりに対するアンケートを実施しております。皆様からのご意見を基に、市政をより身近に感じていただける議会だよりとなりますよう、今後も改善を重ねてまいりますので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

編集後記